

公開授業 A

第 5 学年 2 組 外国語活動指導案

平成 27 年 10 月 27 日 (火) 5 時間目 場所 5-2 教室 T1 林 大 吾
T2 ジョシュア (ALT)
T3 富原貴美代 (外国語ボランティア)

1 単元名 I like apples. 友達の好きなものが知りたいな (Lesson4)

2 目 標

- ・好きなものや嫌いなものについて、積極的に伝えようとする。(コミュニケーションへの関心・意欲)
- ・好きなものや嫌いなものを表したり尋ねたりする表現に慣れ親しむ。(外国語への慣れ親しみ)
- ・日本語と英語の音の違いに気付く。(言語や文化に関する気付き)

3 単元について

本単元は、自己表現としては扱いやすい「好きなもの」や「嫌いなもの」を英語で伝えることに慣れ親しませ、同時に英語と日本語との音の違いにも気づかせていくことをねらいとしている。子どもたちは、様々なゲームを楽しむ中で、自分の好きなものを表す英語表現に慣れ親しみ、積極的に答えたり、尋ねたりしようとする意識を高めていくことにもなると考える。

本学級には、英会話教室や英語の塾に通う児童が数名おり、外国語活動の中で行うゲームやインタビューには積極的に参加し、心から楽しむ姿が見られる。しかし、その一方で、外国語への苦手意識が先行したり、慣れない英語の発音にとまどいを感じたりして、自信がもてず小さな声でしか発音できない児童も数名いる。また、単語の発音を理解していても、それをうまく表現できない児童もいる。

そこで、教師の後に英語を発音したり、ペア活動を取り入れたり、ゲームやチャンツなどを取り入れたりすることで、より多くの英語を発音できる機会を作りたいと考えた。また、リズムよく発音する機会を多くし、英語の音に慣れていくようにもしている。そして、時には日本語で言ってもよいことにし、子どもたちのプレッシャーを取り除き、積極的なコミュニケーション活動を促すようにも心がける。

本時では、キーワードゲームやステレオゲームを行う。これは、ALT や外国語ボランティアの先生、そして、代表児童が発音する“I like ○○.”をよく聞き、同じフレーズを全員で発音して、キーワードが発音された時だけ素早く反応したり、誰がどんなものを好きだと言っているのかを当てたりするゲームである。テンポよく進める中で、“I like ○○.”の発音に慣れさせたい。次に、T1 や ALT が絵カードを提示しながら、“Do you like~?”と尋ね、児童は Yes./No. で答える。これは、提示されたものが、自分にとって好きなものか嫌いなものかをきちんと意思表示することをねらいとしている。また、インタビューゲームでは、①Big voice ②Eye contact ③Smile の 3 つを意識させて取り組ませる。日本語と同様に声の大きさや表情の違い、わずかな動作を付け加えることで、より豊かに表現でき、相手との関係をスムーズにするということに気付かせたい。

4 学習計画 (5 時間完了)

- (1) 日本語と英語の音の違いに気付き、好きなものや嫌いなものを表す表現を知る。・・・1 時間
- (2)好きなものや嫌いなものを表す表現に慣れ親しむ。・・・1 時間
- (3)好きなものを尋ねる表現に慣れ親しむ。・・・1 時間
- (4)好きなものや嫌いなものについて、積極的に伝え合う。・・・2 時間 (本時 2 / 2)

5 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・好きなものや嫌いなものについて、積極的に伝え合おうとすることができる。

(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

(2) 準備

- ・教師：絵カード、ビンゴシート、振り返りカード
- ・児童：好きなもの紹介フリップ（前時までに作成したもの）

(3) 学習過程

時間	学習活動	T 1 の支援 ※評価	T 2 (ALT) の支援	T 3 (ボランティア) の支援
3 つかむ	1 あいさつをする。 T : Hello, everyone. C : Hello, ○○. T : How are you? C : I'm ○○and you? T : I'm ○○. ・ T 1、T 2、T 3 とあいさつをする。	・あいさつをする。 ・気分を表すカードを掲示する。 ※表情豊かにあいさつしているか。 (活動の様子)	・あいさつをする。 ・楽しい雰囲気であいさつができるように、子どもたちのそばで声をかける。	・あいさつをする。 ・楽しい雰囲気始められるように、子どもたちのそばで一緒に活動する。
35 深める・広げる	2 キーワードゲームをする。 ・隣の児童とペアになりゲームをする。 ・ T 1、T 2、T 3 が提示した絵カードを見ながら、“I like ~.” をくり返して言うのを聞き、キーワードの時だけ、席の中央に置いた消しゴムを素早くとる。 3 ステレオゲームをする。 ・前に出た代表児童は、一斉に、“I like~.” と言う。他の児童は、代表児童が言った好きなものを聞き、それが何かを当てる。 ・答え合わせの時に、代表児童は、一人ずつ自分が作ったフリップを見せる。 4 提示された絵カードについて好きか嫌い	“I like ~.” を使ってゲームをしよう。 ・ I like~. の表現を使い、キーワードゲームをすることを伝える。 ・ キーワードを一つ決め、提示した絵カードを見ながら、T 2、T 3 と順番に “I like~.” を言う。 ※好きなものを表す表現を聞いたり、言ったりしているか。 (活動の様子) ・代表児童が、一斉に “I like~.” の表現を使って好きなものを言い何と言ったのか当てるゲームをすることを伝える。 ・ 4 つのグループ（果物・食べ物・動物・スポーツ）に分かれた児童の中から代表児童を選ぶ。 ・絵カードを提示しながら、児童に好きか	・提示した絵カードを見ながら、T 1、T 3 と順番に “I like~.” を言う。 ・慣れてきたら、少しずつ速く言う。 ・ T 1、T 3 が “I like~.” の表現を言った後に、児童が大きな声で復唱しているかを見る。 ・児童とともに、ステレオゲームを行う。 ・代表児童が言った好きなものを、他の児童が当てた時に、“Very good” などの賞賛や励ましを行う。 ・絵カードを提示しながら、児童に好きかどうか	・提示した教師用絵カードを見ながら、T 1、T 2 と順番に “I like~.” を言う。 ・慣れてきたら、少しずつ速く言う。 ・ T 1、T 2 が “I like~.” の表現を言った後に、児童が大きな声で復唱しているかを見る。 ・児童とともに、ステレオゲームを行う。 ・代表児童の中で、発音を苦手とする児童が自信をもてるように、近くで発音する。 ・ Yes, I do. または No, I don't で答える場面

	<p>かを答える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ T 1、T 2 が質問することに対し、Yes./No. で答える。 ・ 慣れてきたら、Yes, I do./No, I don't で答える。 	<p>どうかを尋ね、“Do you like~?” の表現を何度も聞かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ T 2 と交互に質問する。 	<p>かを尋ね、“Do you like~?” の表現を何度も聞かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ T 1 と交互に質問する。 	<p>では、発音することを苦手とする児童が自信をもてるようにそばで発音する。</p>	
5	<p>インタビューゲームをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が作成したフリップを見せながら、友達に、“Do you like~?” と尋ねる。 ・ 好き (Yes. または、Yes, I do) と答えた友達の名前をフリップの後ろに記入する。 	<p>友達に“Do you like~?” と尋ねよう。</p>			
		<ul style="list-style-type: none"> ・ インタビューゲームでは、“Big voice” “Eye contact” “Smile” を意識するように伝える。 ・ 相手と会ったら、“Hello” “Thank you” 等のあいさつをするように伝える。 <p>※好きなものについて自分から相手を見つけて尋ねたり答えたりしているか。 (活動の様子)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童たちが、ゲームのイメージができるように、T 3 とともにデモンストレーションを行う。 ・ 児童とともに、インタビューゲームを行う。 ・ 積極的に関わることができない児童に声をかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童たちが、ゲームのイメージができるように、T 2 とともにデモンストレーションを行う。 ・ 児童とともに、インタビューゲームを行う。 ・ 積極的に関わることができない児童に声をかける。 	
7 ま と め る	6	<p>本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時のよかったところを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時のよかったところを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 机間指導で、本時のよかったところを個々に伝える。

(4) 評価

- ・ 好きなものや嫌いなものについて、自分から相手を見つけてすすんで尋ねたり答えたりすることができたか。(活動の様子・振り返りカードより)

6 板書計画

